



阿南高校の「地域文化コース」の生徒が
平石農場でひまわりの種まきを体験しました。(6月18日)



令和2年7月1日

発行人●阿南町公民館編集部

編集人●公民館報編集委員会

印刷所●飯田共同印刷株式会社

連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287 E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

あな ン

も く じ

- P1 表紙 遊歩道
P2・3 わが町を盛り上げよう
(番外編)
P4 大陸流転
P5 よ! 兄貴、私の趣味・自慢
私の夢
P6・7 お知らせ
P8 あの人、この人、
うちのホープ、編集後記

遊歩道

季節はいつもより早く寒暖の差を繰り返しますが、今年はいつもの年とはガラリと様相を変え、世界中が大混乱ですね。

第三次世界大戦が起こるとすれば原因はウィルスだろうと予想した人がいましたが、今まさにそれなのかも知れません。こんな時はほっこりする詩を読みましよう。

「ころろころころ」

ころろころろころろなら
ころろころろころろがって
ころろころろころろわらいだす
ころろころろころろわたりこみ
ころろころろころろねころろで
ころろころろころろねむくなる
ころろころろころろころろみ
ころろころろころろだまされた
ころろころろころろめをさまし
ころろころろころろいれかえる
ころろころろ

谷川俊太郎「ころろ」より

なんだか癒されますよね。やわらかな心を持って、こんな時でも楽しい事を見つけて自分の栄養にしたいと思っています。いつか明るい出口が見えることを願って。

わが町を盛り上げよう

番外編

大切な命を守るために

今やって欲しいこと

お母さん防災士からお願い

世界情勢を一変させた未知の新型コロナウイルス。感染拡大防止のため、新しい生活様式が求められている現状の中、長野県内も含め、全国各地で地震が頻発し不穏な状況の日々が続いている。

きっかけは8年前の東日本大震災。元来心配性だったという上野真由さんは、命を守るために自分に出来ることはないかと試行錯誤中、防災士を知り、昨年4月、母親と二人泊まり込みで東京へ。資格講習を受講し南信には二人しかいない女性防災士となった。昨年11月には3人目を出産し、子育て奮闘中、年が明けてからあっと言う間に新型コロナウイルスで生活が一変。

まさに誰もが想像もしていなかった事態が起き、改めて自分達が、今備えておくべきことは何かを伝えていかなければと感じたという。

日本列島の過去の周期からも、

●発災後、最低1週間過ごせるような備蓄を各家庭で!が基本です

1. 水 $1 \text{ 日} 1 \text{ 人} 3 \text{ L} \times \text{家族の人数分} \times 1 \text{ 週間分}$ (かなりの量になりますが、できる範囲でストックしましょう)
2. 食糧 特別な非常食でなくても、お米、パスタ、乾麺、レトルト・インスタント食品、乾燥野菜スープ等、長期保存の可能なものを普段からローリングストックしましょう。(購入時に、賞味期限を表に書き、切れそうなものから使って補充していく方法) 家族にアレルギーがある場合は除去食も。いつもの好みの味をストックしましょう。



3. カセットコンロ (ガスも含めて用意)、鍋、最低限の食器類
4. 簡易トイレ トイレのガマンは命の危険につながります!



熊本地震でも、被災のための直接死より避難生活を通しての関連死(避難所でトイレをガマンする、トイレに行かなくて済むように水分を摂らないことによるエコノミッククラス症候群や持病の悪化)がほとんどなんです!

水洗トイレは使えなくなります。流さずにトイレにセットする黒いポリ袋と凝固剤のセットなどの簡易トイレを!
小さな子どもから高齢者のみなさんまで、誰もが安心して使えるための環境を整えておきましょう。

5. 非常用持ち出し袋
それぞれリュックで背負えるもので用意しましょう。
6. 車のガソリンは半分になったら補充しましょう
短期の避難所にもなる自動車。冷暖房可能で、充電も出来て、非常用持ち出し袋や毛布等も積んでおけます。

★それぞれのご家庭の環境に合った備蓄や、持ち出し袋を用意しましょう!

30年以内にマグニチュード8相当の巨大地震が起きる確率は約80%と言われている。
東日本大震災が起きた時、誰もが「まさか」「こんなことになるとは思わなかった」と言っていた。阪神淡路大震災も、熊本地

震も然り。昨年の長野市の各地に甚大な被害をもたらした千曲川の氾濫も同様である。未曾有の大災害は、自分たちのすぐそばにあり、いつその牙を剥くかわからないのだ。その時、母として大切な家族の命を守るため

に備えておくべきことを、ひとりでも多くの人に伝えるために防災士を目指した上野さん。
「小さな子どもはもちろんですが、赤ちゃんを連れて避難することは本当に大変なことだと感じます。」

●災害が発生したら!の話し合いを家族でしましょう

1. わが家の方向性を決めて確認
在宅（自宅）避難が理想ですが、それぞれ学校・職場等にて被災した場合、どう動くか？またハザードマップにより自宅や付近が危険場所となっていれば、避難所へ安全に避難するなど家族で具体的に決めましょう。
2. 避難所の確認
最寄りの避難所を確認し合っておきましょう。
3. 家族の安否確認
緊急時に連絡のつく番号を子ども達に持たせましょう。

現在認証を受けた防災士は日本に約20万人。NPO法人日本防災士機構長野県支部に加入した上野さん母娘。昨年9月、市立病院の担当助産師とはぎもと助産院の院長先生と交流する中で、有事の際に妊婦は？出産は？どんな対策が必要かについて第1回検討会が持たれた後、当支部が県助産師会と災害時相互協力協定を締結した。そして真由さん自身もその後出産を経

て、これから出産する世代、共に子育て中の世代にどんなメッセージが送れるのか模索中であるという。

中でも、非常用持ち出し袋については、子ども用、大人用、家族それぞれリュック型（が両手が使えるので無難）を用意し、中身を定期的にチェックしながら入れ替えも必要となる。まずは各家庭で作ってみてほしい。

これを機に、新型コロナの支援金やあなん生活応援商品券などを上手に使う、楽しみながら必要なものをそろえてみるのもオススメ。

「災害が起きたら、お父さんは周囲と協力して外へ助けに行ってしまうかも知れないので、子ども達や家を守らなければならぬのはお母さんになると思うんです。」

わが家では以前からマスクも消毒用アルコールも有事の際に必要なものとして買ってあったので、今回のコロナでも困らなかったんですね。ストックしておくと、急にあれもこれもとなるとハードルが高いので、オムツやトイレトペーパーなら、もう一つ余分に買っておこ

●小学生の非常用持ち出し袋を見てみました



タオル類、マスク・常備薬（重要）・傷薬
（アレルギーの有無を書いた紙）
飲料水、乾パン、おやつ袋
トランプ・お絵かき道具など
小銭、携帯ライト、緊急時連絡先カード
ホッカイロ・保温アルミシート
保冷剤になるもの
歯ブラシ・ふき取りシートなど
（★一晩を過ごすことを想定しています）

う、で十分いいと思います。」
大事なのは、普段の生活と変わらない生活ができるように、工夫して少しずつ用意していくこと。

「たとえば水は必需品ですが、うちではペットボトルの飲料水の備蓄とは別に、普段からタンクに3つ水を入れておいて、水道がもし止まってしまっても困らないように、定期的に使い回しています。出来ることからち

よっとずつ意識していけば、家族みんなに徐々に身に付いていくはずですよ。」

有事の際は、一同が力を合わ

せて共助していかねばならない。その前にまずは自助努力を、共に手を携えて取り組んでいくことが、多くの命を救うことにつながる道である。

まずは、家族のために備蓄しておけるもの、持ち出すべきものの、避難生活で必要となるものをそろえて、家族で災害について話をしよう。

上野さんは今後も、保育園の未就園児交流の防災教室、小学校への備蓄の提案等、お母さん防災士として子育てをしながら、出来ることに取り組んでいく予定。

大陸流転

敗戦そして抑留8年

(21)

熊谷秋穂氏 著

予期せぬ機銃掃射

この頃、主要都市のほとんどは国民党(蒋介石)が支配しており、東北(旧満州)の一部農村だけを八路軍が支配していた。

俺達は八路軍第一師団第四七野戦軍担架隊に配属されていた。

訓練は、毎日毎日続いた。その訓練も、段々と厳しくなり強化されていた。

訓練時間のほとんどが駆け足だった。日本人は必ず隊列の最後尾につくのだが、最初のうちはどうやらついて行けても、食べ物もろくに食べていなかった。それで栄養失調者が多く、その都度、落伍者は絶えなかった。すると幹部のどなり声がとぶ。遅れないように歯をくいしばって走るのだが、体力がないので到底無理だった。

こんな訓練が数カ月続いた。打ち合わせたように、日本人からは毎日何人かの落伍者が出たからか、給食には白米、肉饅、肉の野菜炒めが出るようになってきた。

一定の訓練が終了した。休息に入れるかと思ったら、それどころか、四平作戦に参加するための前線に移動命令

が発せられた。

長い長い、隊列の行軍が始まった。

朝陽鎮の町を目前にした時だった。

大きな爆音と共に低空に一瞬、敵機二機が現れた。

敵機は二回大きく旋回して、交互に機関砲を放って引き返した。すると今度は爆撃機が一機現れ、高空から小型爆弾を数発投下して去って行った。戦闘機の操縦士の顔が大きく見えた。にやと笑っているみたいだった。

地上から機関銃で応戦したが無理。

効果は全くない。命中することはなかった。

地上での襲撃は何回も受けて来たが、空からの攻撃は本当に怖かった。生きた気はしなかった。こんな恐怖は初めてだ。二度と経験したくない。

真っ昼間に空から長蛇の隊列目がけての機関砲掃射と爆弾投下だから、逃避行の時と勝手は全々違う。いつまでも体がたがたと震えて止まらなかった。喉もからからに乾いていた。恐怖の一瞬だった。

幸い俺は、かすり傷一つ負わなかった。

敵機来襲による八路軍の犠牲者は三〇人も出た。それ以後、昼間の行軍は全くなくなって夜の行軍に切り変わった。

四平街の作戦

た。

その頃、国民党は精鋭部隊数万人を四平街に結集させて、強固な要塞を構築していた。近代装備と膨大な兵力をもって、八路軍の進攻を、北滿最後の砦と位置づけた。八路軍は二年がかり四回に及ぶ大激戦を展開したのち、ようやく四平街を落としたのだった。

この作戦に俺の所属部隊が参加することになった。担架隊の一員として参加するのだ。いやな予感がする。

「命だけは落としたくない」

こんな思いは日本人であれば誰もが同じだ。

敵に狙われるのを恐れて、相変わらず夜の行軍が続いた。

八路軍の兵士は歩くのが強い。炊事班になると、食糧や鍋まで、天びん棒で担いで歩くのを見て来たが、大変な驚きだった。一夜の行軍日程は、五〇キロメートル。少ない時でも、四〇キロメートルは歩く。非常に強行軍だった。到底、俺達では真似は出来ない技と体力だ。俺達は雨が降ろうと真っ暗闇の中でも歩き続けた。

前線だ。砲弾の炸裂する音が近い。迫撃砲が近くで炸裂する。緊張と恐怖が全身を包む。「いやだな。死にたくはない。死にたくない」といつも思っていることだが、その思いはますます募る。

四平街の作戦は一進一退、難攻不落の街だった。蒋介石軍は頑強な抵抗をしたのだ。砲弾は容赦なく飛んで来て炸裂する。

時には、退却の命令で逃げたこともある。生きた心地はしなかった。

戦闘機が空から狙い撃ちするのだから怖い。閃光を放って急降下しながら撃つて来る。近くに着弾すると、耳元をかすめて「ヒュン、ヒュン」とうなって飛び散るから怖い。

人体に当たると、被服はちぎれ飛び散り、肉片はえぐられて、大きな傷になる。破傷風になって亡くなった兵士も少なくない。病院に運ばれ、足や腕を切断され命びろいをした兵士も多かった。繰り返して繰り返して、四回に及ぶ作戦を展開したのだった。

莫大な弾薬と数万人の兵力を投入したが、容易に陥落することはなかった。蒋介石軍の方が武器が勝っていたし、兵力も多かった。それに八路軍の進攻を恐れて築いた強固な要塞、張り巡らした鉄条網、アメリカ製の武器、弾薬、飛行機に及ぶまで、八路軍とは比較にはならないほど優れた装備であった。

最後の戦闘では、相方の屍が山と積まれた熾烈な戦だった。

四平街が陥落すると数十万人の捕虜と、莫大な武器弾薬が八路軍の手に入った。それによって八路軍は見違えるほどの近代武装した軍隊に一気に生まれ変わっていったのだ。

私の趣味・自慢!

★防災おじさん

富草栗野 金田 和弘さん

「私こと、ご縁を頂き、当町の消防団長二年の任期を無事全う後、『防災おじさん』になりました。」

愛車カーキの軽トラのNo.は171（災害時伝言ダイヤル）。「大切な家族を避難所へは連れて行かせない!」をモットーに、庭には防災ハウスや自作の軽トラシェル（中は大人二人が横になれる簡易ハウス）、非常時のキッチンカーを目指した屋台やかまど、雨水タンクなどが並び、大工の腕も大いに役立っている。枠組みを超えた新しい自主防災組織を目指し、一年温め続けた『オヤジの会』が本年四月一日発足、一期生五人で始動!命を守る活動に力を入れています!（次号につづく）



よっ! 兄貴



新野 柝洞

金田 悠さん

・あなたが今やっていることについて教えてください

現在は飯田市の川路で介護の仕事をしています。昨年の10月から今の会社で働いていますが、介護の仕事はトータルで6年目になります。現場で働いているので大変です。

・これからやりたいことは何ですか

特別何かこれといってやりたいことはありません。これからやりたいことを探していきたいと思っています。

私の夢

大下条小学校

6年

佐々木

かがや
華輝さん



僕の夢は、勇かなな消防士になることです。

ちよつと前までは、消防車が好きだったから消防士になりたいなあと考えていたけれど、もう今はちがいます。理由のひとつ目に、社会の授業で消防署を見学した時、火事現場で自分の命をはって、人命救助をする消防士さんのお話を聞いて、なりたい気持ちがもっともつと強くなりました。人命救助に使う機械の練習や人命救助の訓練をいっぱいして、火事や災害などで逃げ遅れた人々を救い出す、勇かなな消防士になりたいです。理由の2つ目に、道徳の教科書で、まどみちおさんが言っていたように、今のくらしを全力をあげてがんばって楽しみたいし、みんなで力を合わせてがんばりたいからです。そして、立派な大人になって地球全体を救っていききたいとも思いました。

これからもしつかり勉強をして、消防士になれるようにがんばりたいです。そして家族みんなを支えたり恩返しをしたりしたいです。

～いっしょに活動しませんか～

阿南町内の社会文化団体を紹介します

現在阿南町内には様々な目的で活動している団体があります。皆さんも興味のあるクラブがありましたら、いっしょに活動してみませんか。もっと詳しくお知りになりたい方は阿南町教育委員会までお問合せください。

■お問合せ 阿南町教育委員会 ☎22-2270

内 容	クラブ名	活動日 (実際は異なる場合あり)	活動場所
コーラス	シルバーうたごえサークル	毎月2回 (火曜日) の午後	阿南町民会館
	グリーンハーモニーあなん	毎月2回 (第2・4水曜日) の夜	阿南町民会館
ハーモニカ	阿南ハーモニカ同好会	毎月2回程度の昼	富草老人福祉センター
よさこい	南舞 ² 姫	毎週土曜日の夜	阿南町民会館
囲碁・将棋・オセロ	囲碁・将棋・オセロクラブ	毎月2回 (第2・4土曜日) の午前中	阿南町民会館
太鼓	和合太鼓「太和楽」(たわら)	毎週金曜日の夜	和合小学校体育館 または和合会館
文学	新野短歌会	毎月1回 (月末の土曜日) の午後	農村文化伝承センター
歴史	新野古文書を読む会	月1回程度の夜 (冬期間は休会)	農村文化伝承センター
書道	新野書道教室	毎月2回第2・4月曜日の夜	新野ふれあい館
詩吟	詩吟新野教場	毎月第1木曜日の午後	新野福祉センター
写真	新野フォトクラブ	年4回写真展の開催 (個人的に活動)	農村文化伝承センター (展示会)
大正琴	大正琴クラブ花の木	毎月2回 (隔週火曜日) の午前中	新野ふれあい館

陸上の普及・振興および健康増進、阿南町の活性化を目指し、以下の日程で陸上教室を行っています。
いっしょに気持ちのいい汗を流しませんか。
皆さん、お気軽にご参加ください。
○開催日時
毎週月曜日
午後6時15分～7時15分



陸上教室の開催について

おしらせ(7・8月)



【富草地区球技大会】

○8月下旬

【和合夏祭り】

○7月下旬

【富草海物語】

○7月中旬

【第48回愛知・長野県境域
スポーツ交流会】

○7月19日(日)

【中止となった
7・8月の主な行事】

○場所

富草総合グラウンド及び周辺の
クロスカントリーコース

○その他

水分補給できるものをご持参
ください。

○問合せ

阿南町教育委員会
社会教育係 ☎22-2270

コロナに負けるな! 《フォトエール》

～こんな時だからこそ写真を通じてエールを送ってみませんか～

現在のコロナ禍の状況のもと、こんな時だからこそ「写真」を通じて「みんなでがんばろう」というメッセージ性のある写真を通じて、見た方にエールを送りませんか。あなたの“ベストショット”をご応募ください。

○概要

町民の皆さんから写真を募集し、集まった作品を福祉関連施設などに展示させて頂くと同時に、町ケーブルテレビや町・社協ホームページなどにも掲載します。

○応募要件

町内で撮影した写真（スマートフォンの写真可）。（応募点数は1人2点まで）

- ・感染症対策に取り組んでいる写真など、コロナの状況の中、がんばっている様子の写真（マスクを作っている写真、手洗い・うがいの様子など）。
- ・心がほっこりするような写真（風景・笑顔の人物写真など）。

○応募方法

メール、USBデータ持込みまたはプリントアウト持込み。応募時には写真のタイトル、氏名、住所、電話番号、撮影場所、コメント等を記載してください。

○写真サイズ

デジタル画像の場合は、データサイズの指定はありません。プリントアウトする場合のサイズはA4orA3版。

○応募期限

8月20日(木)必着

○応募先・問合せ

■阿南町社会福祉協議会

ボランティアセンター

阿南町西条709番地

☎：22-3151

e-mail：tiiki@anansyakyo.or.jp

■阿南町公民館

阿南町東条58番1（教育委員会内）☎：22-2270

e-mail：kyouiku@town.anan.nagano.jp



（例）手づくりマスク作成中！

あの人
この人

和合 寺村
紀和江さん(写真右)
熊谷 金田
永恵さん(写真左)

林松寺のお隣には2人の姉妹が住んでいます。お姉さんの金田永恵さんと妹さんの熊谷紀和江さんです。

永恵さんは過去に掲載させて頂きましたので、今回は紀和江さん取材しました。

和合で生まれ育った紀和江さんは、19歳で天龍村神原へお嫁に行きました。旦那さんは仕事で遠方に出かけていることが多く、ほとんど家にはいなかったそうです。紀和江さんは義理のご両親と2人の娘さんを育てました。

平成6年、紀和江さんが60歳の

時、旦那さんと一念発起し、岐阜県土岐市で焼肉屋を始めました。見知らぬ土地

での新たなスタートは、前年の「平成の米騒動」(平成5年、記録的な冷夏による米不足)の影響を引きずる中での開店であり、苦労は絶えませんでした。更に、1年後には旦那さんが体を壊し、入退院を繰り返すようになりました。しかし、紀和江さんは従業員とお店を切り盛りし、経営を続けました。次第に口コミでお客さんが増え、連客だけでなく、長野県からの団体客もあったそうです。

約20年間お店を続けましたが、常連客の一人にお店、道具、ノウハウまでをも譲り、引退しました。

その後、旦那さんが亡くなったため、紀和江さんは和合に戻ってきました。昔の友達、知り合いがいる和合はやっぱり良いそうです。

今はお姉さんと2人暮らし。言いたいことを言い合い、怒ったり怒られたりの日々ですが、協力し生活しています。

60年間、和合を離れていたら、ど、「また、和合の人に戻りました。」

うちのホープ



大下条 深見
山口 健二さん・友美さんのお子さん
隼人くん(高1・写真左)、秀俊くん(小4・写真右)
優姫ちゃん(2歳・写真中央)

山口優姫です。誕生日は7月4日だから、もうすぐ3歳になるよ。パパとママは将来『誰にでも優しくなれる我が家のお姫さま』って意味で私の名前を付けてくれたんだって。お家では2人のお兄ちゃんとよくケンカをしちゃうけど、本当はみんな大好きだよ。

最近の私のお気に入りには『お買い物』と『アナと雪の女王』。お買い物はパパとママにお金をもらって、私が自分でレジに行ってお買い物するんだ。たまにお釣りをもらってくるのを忘れてきちゃうけど、お買い物でき

るとみんなが「すごいね」って褒めてくれるから嬉しいんだ。アナと雪の女王は大好きで、DVDを毎日観てるよ。セリフも覚えてお家でアナ雪ごっこをするのがとっても楽しい。今は元気いっぱい遊んだり、大好きなラーメンを食べたり、お買い物したり毎日パパやママやお兄ちゃん達とたくさんお話をして過ごしているよ。将来はアナみたいに優しく、エルサみたいにキレイなお姫さまになりたいな。



今ほとんどの人が出かける時にはマスクをしています、何のため？やはり新型コロナウイルスの感染予防や花粉症対策・風邪をひいたためと言うでしょう。

しかし中には、無精髭の顔を隠す時、実はスッピンの女性がよく使う手口もあります。

やはり、毎日の清潔感

